

小学校第1学年 学級活動指導案

- 1 議題 「おじいちゃん・おばあちゃんと なかよくなるかいをしよう」
学級活動（1） ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 議題について

（1）児童の実態

話し合い活動では、年度当初に学級会に関するオリエンテーションを行い、学級会の意味や話し合いの進め方や扱う議題などを学級全体で確認し、共通理解を図った。最初は担任が全ての役割を務めながら話し合いを進め、段々と慣れてくるにつれて、教師の助言を受けながら、司会グループの進行で学級会を行ってきた。これまでに「1学期がんばったね会をしよう」「ミニ運動会をしよう」「秋まつりをしよう」という議題で話し合い活動を経験している。集会活動では、児童が集会の計画・進行の仕方を経験し、集会の楽しさを味わってきた。

1年生の後半に入り、話し合い活動を続ける中で、少しずつ相手を意識して話したり聞いたりすることが身に付きつつある。しかし時には、うまく自分の考えを周りに伝えられないで困っている児童や、自分の考えに固執し譲歩できなくなってしまう児童が見られ、話し合い活動が停滞してしまうことがある。そこで、児童の考えを代弁し分かりやすく全体に伝えたり、お互いの考えを尊重し合う意見を教師が称賛したりすることで、話し合いを円滑に進めることができるように、教師が様々な支援をしていくことが重要であると考えます。

（2）議題選定の理由

本議題は、「特別養護老人ホームと交流することになったが、どんなことをしたらいいと思うか」という教師の投げかけに対して、「それなら学級会で相談しよう」という児童の思いから提案されたものである。

昨今、核家族化や少子化の進展、一人っ子の割合の増加が生じている中、児童たちが兄弟姉妹や親戚、祖父母等と遊び、触れ合うという機会が減少している。地域社会においても、地縁的なつながりの弱まりや人間関係の希薄化が進む中、児童たちの豊かな心を育むための地域との連携した活動が求められている。児童はこれまで、芋の苗植え体験や登下校の見守り等で、地域の方々と関わってきた。児童は「地域に暮らし、地域で育つ」ものである。今回は特別養護老人ホームの高齢者と交流する中で、高齢者から様々なことを学ぶとともに、誰かの役に立つことで自分自身が嬉しい気持ちになったり、充実した気持ちになったりすることに気付かせたい。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

| よりよい生活を築くための知識・技能 | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
|--|---|---|
| みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。 | 楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。 | 楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団生活に取り組もうとしている。 |

4 事前の活動

| | 月日 | 活動の場 | 活動の主体 | 活動内容 | 指導上の留意点 |
|----|---------------|-------------|-------|----------------------------|---------------------------------------|
| 事前 | 10月21日 (月) | ひらめき タイム | 計画委員会 | 顔合わせ・ 役割分担 | 互いを認め合う分担をする。 |
| | | 昼休み | 計画委員会 | 議題の選定 | 議題の決定を提案者に伝える。 |
| | 10月24日 (木) | 朝の会 | 全員 | 議題の確認、決定 | 計画委員の提案をもとに全体で 選定理由を共通理解し決定す る。 |
| | | 昼休み | 計画委員会 | 学級会ノートの 作成 | 話合いの方向を考え、気を付け ることを考えさせる。 |
| | 10月25日 (金) | 業間休み 昼休み | 計画委員会 | 活動計画の作成 | みんなが理解できる提案理由に なるように提案者に助言する。 |
| | 10月28日 (月) | ひらめき タイム | 全員 | 学級会ノートに 考えの記入 | 決まっていることが共通理解で きるよう、適宜助言する。 |
| | | 業間休み 昼休み | 計画委員会 | 学級会コーナー 学級会ノート 短冊の確認 | 見通しがもてるようにする。意 見の統合など、分類しておく。 |
| | 10月29日 (火) | 昼休み | 計画委員会 | 話合いの進め方 の確認 | 各役割を確認しながら行う。 |
| 本時 | 11月1日 (金) | 第5校時 | 全員 | 学級会 | めあてを心がけて発言できるよ うにする。 |

※ひらめきタイム…毎週月曜日、8：20～8：35に学級会の準備、事前・事後指導に活用
する時間

5 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「多様性の尊重・共生」）

自分と友達の考えの違いを知り、受け入れ合うことの大切さを学ぶことで、互いの違いを認
め、尊重し合う人権感覚を育む。

6 人権教育上の視点

- (1) 自分自身や友達の考えを大切にしようとする。（価値・態度）
- (2) 自分の考えを伝えたり、友達の考えを想像したり、その立場に立って考えたりできる。
（技能）

7 本時のねらい

○友達の意見を尊重しながら、高齢者に喜んでもらえる交流会にできるような計画を考える
ことができるようにする。

8 展開

| 1ねん1くみ だい9かい がっきゅうかい かつどうけいかく 11月1日(か) 5じかん目 | | | |
|---|---|-------------------|------|
| ぎだい | おじいちゃんやおばあちゃんと なかよくなるかいをしよう | | |
| やくわりぶんたん | しかい()こくぼん() | | |
| だしたわけ だしたひと () | せんせいから、おじいちゃん・おばあちゃんと、こうりゅうすると ききました。おじいちゃんやおばあちゃんと なかよくなりたいしよろこ んでもらいたいとおもったから、このぎだいをだしました。 | | |
| はなしあいのめあて | おじいちゃん、おばあちゃんと なかよくなれることや、くふう をかんがえよう。 | | |
| きまっていること | ・11がつ12にち(か)のわくわくタイム(ログひるやすみ)と5じかんめにやる。 ・みせるもの1つ・いっしょにやるあそび1つ(あわせて30ぶん) | | |
| はなしあいのじゅんじょ | きをつけること | じゅんび | |
| 1 はじめのことば | ・げんきよく、大きなこえでいう。 | ・しかいのかみ | |
| 2 うた | ・しきのひとにあわせて、手をつないで、げんきよくうたう。 | ・がっきゅうかい ボード | 7ぶん |
| 3 けいかくいいんのしょうかい | ・じぶんのめあてをいって、じこしょうかいをする。 | ・たんざく | |
| 4 めあてとだしたわけのかくにん | ・ぎだいをぜんいんでいう。 | ・マグネット (あか・あお) | |
| 5 きまっていることのかくにん | ・ゆくり、はっきりとつたえる。 | ・ありがとう マフ | |
| 6 めあてのかくにん | ・めあてを、ぜんいんでいう。 | ・けいていマフ | |
| 7 せんせいのはなし | | | |
| 8 はなしあうこと ①どんなことをするか。 ・みせるもの1つ ・いっしょにやること 1つ ②なかよくなるために どんなくふうを するか。 | ・だされたいけんを、たんざくにかいて、こくぼんに はっておく。 ・ていあんりゅうにそって、おじいちゃん・おばあちゃんによるこんて もらえることかどうかを、かんがえてもらう。 ・いけんをくわべあう、のどころからはなしあう。 ・みせるものとあそびを、わけてかんがえてもらう。 ・できるだけ、みんながはっぴょうできるようにする。 ・りゅうをつけていけんをいってもらうようにする。 | | 11ぶん |
| ③どんなかかりが いるか。 やくわりぶんたん | ・はなしあいの①と②でできたことから、やくわりをかん がえてもらう。 ・けいかくいいんで、だせるものはだしておく。 | | 12ぶん |
| 9 きまったことのかくにん | ・こくぼんがかかりが大きなこえではっぴょうする。 | | 8ぶん |
| 10 ふりかえり かんそうはっぴょう | ・じぶんきともだちのかんばたところをみつけら れるようにする。 | | 7ぶん |
| 11 せんせいのはなし | | | |
| 12 おわりのことば | ・こうりゅうかいにむけて、やる気がでるような ことをいう。 | | |

9 指導上の留意点

◎人権教育上の配慮

| 話合いの順序 | ・指導上の留意点 | ○目指す児童の姿 |
|---------------|--|----------|
| 1 はじめの言葉 | ・事前に計画委員と流れの確認をし、話合いの流れが分かるように学級会コーナーの準備をする。 | |
| 2 歌 | ・明るい雰囲気で行えるように見守る。 | |
| 3 計画委員の紹介 | ・事前に、司会・黒板それぞれにめあてを言えるように指導しておく。 | |
| 4 議題と出したわけの確認 | ・提案者の思いや願いが伝わるよう、事前に学級会ノートに記入し配布したり、背面黒板に記入したりして学級全体に周知しておく。 | |
| 5 決まっていることの確認 | | |
| 6 めあての確認 | | |
| 7 先生の話 | | |

| | |
|--|---|
| 8 話し合うこと (1) どんなかつどうをするか (2) なかよくなるためにどんなくふうをするか (3) どんなかかりがいくか | <ul style="list-style-type: none"> ・全員が共通理解できるように、提案者が大きな声ではっきりと発表できるように助言する。 ・「比べ合う」段階から進められるように、準備しておくことを伝えておく。 ・出しておいた意見を短冊に要約してまとめておき、あらかじめ黒板に貼るように確認しておく。 ・提案理由を意識した発言や建設的な意見、進行を助ける意見を称賛する。 <p>◎自分の考えを伝えたり、相手の考えを上手に受容することができたりしている児童を認め、学級に広める。(技能)</p> |
| 9 決まったことの確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・決定に際しては、安易に多数決にならないように注意するとともに、採用されなかった意見を出した児童にも確認するように助言する。(反対意見がないか、確認するよう事前に伝えておく。) <p>◎お互いの考えを生かした建設的な意見がもてるように助言する。(価値・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まったものには、気持ちよく賛成するように伝える。 <p>○集会の工夫や内容について、自分の考えを進んで発表しようとしている。(主体的態度) 【発言・観察】</p> |
| 10 振り返り・感想発表 | ○提案理由に沿った意見を考え、発言している。 (思考・判断・表現) 【ノート・発言・観察】 |
| 11 先生の話 | ・司会グループへの労い、前回からの成長した点、次回への課題を伝えるとともに、実践への期待が高まるような声かけをする。 |
| 12 おわりの言葉 | |

10 事後の活動

| | 月日 | 活動の場 | 活動の主体 | 活動内容 | 指導上の留意点 |
|----|---------------------|--------------------------|-------|---------------------------|---|
| 事後 | 11月5日(火) ～11日(月) | ひらめきタイム 業間休み 昼休み | 全員 | 役割ごとに準備の計画を立てる。 出し物の練習 | これまでの係活動や集会等の準備を想起させ、協力して準備ができるように助言する。 |
| | 11月12日(火) | 業間休み | 全員 | 役割ごとに準備の確認をする。 出し物の確認 | 役割ごとに準備状況を報告させ、意欲の継続化を図る。 |
| | | わくわくタイム (ロング昼休み) 5時間目 | 全員 | おじいちゃん・おばあちゃんとなかよくなるかい | 意欲的に活動している児童や、協力して活動している児童、工夫して活動している児童を称賛する。 |
| | | 帰りの会 | 全員 | 片付け、振り返り | 提案理由に基づいた活動の振り返りを行い、互いのよさや頑張り気づくようにする。 |